後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	5	持続可能なまちづくり	担当部	財務部
基本施策	2	自治を支える安定した行財政運営		
単位施策名称	1	持続可能な行財政運営		
施策の方向性	●町税など収入の安定確保と時代に即した歳出の見直しにより、安定的な財政基盤を構築します。 ●事務効率の向上を図るとともに、財政健全性を確保しつつ、質の高いサービスを提供する行政の最適化を目指します。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	財政調整積立基金年度末現在高	億円	目標値		9.7	11.5	10.9	9.9	10.0
			実績値	13.1	14.7	16.2	17.9	26.0	30.7
			達成状況		達成	達成	達成	達成	達成
2	町税の収納率（現年分+滞納繰越分）	%	目標値		98.6	98.6	98.6	98.7	98.7
			実績値	98.6	98.9	99.0	99.0	99.2	99.0
			達成状況		達成	達成	達成	達成	達成
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	厳しい財政状況ではありましたが、臨時財政対策債の追加借入が可能になったこと等により、財政調整積立基金年度末現在高は目標を達成しました。 また、町税収納率についても適正な業務執行により、目標を達成しました。
R4	令和3年度に引き続き令和4年度についても、収支が黒字になったことにより、財政調整積立基金年度末現在高は目標を達成しました。 町税収納率についても、適時適切な催告や丁寧な納税案内相談等の結果、目標を達成しました。
R5	財政調整積立基金年度末現在高について、収支が黒字になったことにより、目標を達成しました。 町税の収納率についても、現年分の滞納が生じた段階で督促、催告を行い、大きな滞納者が生じないよう早期の抑え込みを心掛けたことにより、目標を達成しました。
R6	財政調整積立基金年度末現在高は、約12億円を積み増したことから大幅に改善し、目標値を達成しました。 町税の収納率は、地道な滞納整理が実を結び、目標値を達成するとともに、4年間で最も高い実績値となりました。
R7	財政調整積立基金年度末現在高は、4億円余りを積み増したことから、目標値を達成しました。 収納率は令和6年度に法人税高額納付があったため前年度より減少しているものの、現地調査等を通じて実態把握に努め、適切な徴収を行った結果、目標値を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	令和3年度においては目標を達成することができましたが、厳しい財政状況が続くことから、今後の目標達成は相当の困難が見込まれます。
R4	財政調整積立基金年度末現在高については、予算執行の適正化・歳入の確保等の結果、目標を達成しています。 町税の収納率が目標を上回っていることも、当該達成に貢献していると考えます。
R5	収支が黒字となる年度が続いたこともあり、財政調整積立基金年度末現在高は目標を上回っているものの、潤沢と言える状態ではないため、引き続き財政運営には注意が必要です。 町税の収納率は、目標値が高いにもかかわらず達成となっており、所管課が様々な取組みを努力した結果と考えます。
R6	両目標値ともに4年連続達成しており、安定的な財政基盤の構築に寄与しています。
R7	財政調整積立基金年度末現在高については、目標値を大きく上回っており、安定的な財政基盤の構築に寄与しています。 町税の収納率は、徴収業務を丁寧に進めてきた結果であり、財政の安定化に貢献しました。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	まちづくり振興基金積立金事業	5,133	10,000	10,000	15,000	110,000	150,133
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		5,133	10,000	10,000	15,000	110,000	150,133

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	まちづくり振興基金積立金事業	事業番号	521101
担当部署名	財務部　　財政課		
政策体系			
基本目標	5 持続可能なまちづくり		
基本施策	2 自治を支える安定した行財政運営		
単位施策	1 持続可能な行財政運営		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○　まちづくり振興基金へ、一般財源により5,133千円の積立を行いました。
R4	○　まちづくり振興基金へ、一般財源により10,000千円の積立を行いました。
R5	○　まちづくり振興基金へ、一般財源により10,000千円の積立を行いました。
R6	○　まちづくり振興基金へ、一般財源により15,000千円の積立を行いました。
R7	○　まちづくり振興基金へ、一般財源により110,000千円の積立を行いました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	実施計画期間中のまちづくり振興基金への積立額（累計）	万円	目標値	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000
			実績値	513	1,513	2,513	4,013	15,013
			達成状況	未達成	未達成	未達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		まちづくり振興基金への積立が目的のため、積立額を指標としました。						

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	5,133	0	0	0	0	5,133
R4	10,000	0	0	0	0	10,000
R5	10,000	0	0	0	0	10,000
R6	15,000	0	0	0	0	15,000
R7	110,000	0	0	0	0	110,000
合計	150,133	0	0	0	0	150,133

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながらの予算編成となり、歳入予算の見通しにより基金積み立て財源の確保が困難でした。
R4	令和4年度は実施計画どおりの積立額を確保し基金積立を実施しました。当初予算において財政調整積立基金からの繰入が続く厳しい財政状況にあるため、未だ累計額では目標値に達していません。
R5	令和5年度は実施計画どおりの積立額を確保し基金積立を実施しました。しかし、当初予算において、財政調整積立基金からの繰入が続く厳しい財政状況にあり、累計目標値に達するほどの基金積立財源の確保が困難であったため、累計額では目標値未達成となっています。
R6	令和6年度は実施計画より多くの積立額を確保し基金積立を実施し、累計の目標値を達成しました。
R7	令和7年度は、令和6年度の決算剰余金の一部を積み立てたことから、実施計画より多くの積立額を確保し、累計の目標値を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	公共施設の計画的な施設改修等に備え、基金に安定的に積み立てるためにも使用料の見直しやふるさと納税の拡充など歳入の確保に努める必要があります。
R4	公共施設の計画的な施設改修等に備えた基金への積立てを継続していくためにも歳入の確保に努めるとともに歳出削減を図り、積み立てる財源を捻出していく必要があります。
R5	公共施設の計画的な施設改修等に備えた基金への積立を継続していくためにも、引き続き歳入確保及び歳出削減に取り組み、基金積立財源の確保に努めます。なお、令和6年度は税収増を見込んでおり、累計額でも目標値達成となるよう基金積立を実施する予定です。
R6	公共施設の計画的な施設改修等に備えた基金への積立を継続していくためにも、引き続き歳入確保及び歳出削減に取り組み、基金積立財源の確保に努めます。なお、令和6年度は税収増のため、累計額でも目標値を達成しました。
R7	公共施設の計画的な施設改修等に備えた基金への積立を継続していくためにも、引き続き歳入確保及び歳出削減に取り組み、基金積立財源の確保に努めます。なお、令和6年度の決算剰余金の一部を積み立てたことから、累計額でも目標値を大きく上回りました。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	コロナ禍の下、非常に厳しい財政状況であり、積立額は予算段階から計画額の1/2となり、実績値も1/2となりました。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、財政状況は厳しいながらも、令和4年度は実施計画目標額と同額を積み立てることができました。
R5	令和5年度は計画どおりの額を基金に積み立てることができました。財政状況が厳しかった令和3年度の積立額が計画額に達しなかったことから、累計額では目標値に満たず、達成状況は未達成が続いている状態です。
R6	次期総合計画を見据え、4年目で初めて目標値を達成しました。
R7	令和7年度は、令和6年度の法人町民税の増等による決算剰余金の一部を積み立てたことにより、累計額でも目標値を大きく上回りました。

・評価及び対応方針

R3	基金を安定的に積み立てるため、歳入の確保に努めるとともに、歳出においても常に最小限の支出で最大限の効果を目指すような取り組みが必要です。
R4	計画的な基金の積立てのために、予算段階からの積立額確保を図る必要がありますが、歳入の確保については、継続課題です。
R5	老朽化が進む公共施設を適切に維持保全していくための財源として、計画的な基金積立を継続していく必要がありますが、財政状況も厳しい中、確実に積立額を確保する必要があります。令和6年度については法人町民税の大幅上振れにより計画以上の積立が可能となる見込みです。
R6	安定的な財政基盤の構築を目指し、引き続き計画的な基金運営を図ります。
R7	安定的な財政基盤の構築を目指し、引き続き計画的な基金運営を図ります。